

## 透析室における感染対策：透析患者が感染した場合

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染経路は、ウイルスを含む飛沫が目、鼻、口の粘膜に付着する、ウイルスが付着した物や環境に触れた手で目、鼻、口の粘膜と接触することにより感染するとされている。感染対策のポイントとしては、ウイルスを含む飛沫が目、鼻、口の粘膜に付着するのを防ぐ、ウイルスが付着した手で目、鼻、口の粘膜と接触するのを防ぐことである。

通常より、手指衛生、呼吸器衛生/咳エチケットを含む標準予防策を実施、疑い患者が発生した場合は、検査結果で COVID-19 が否定されるまで標準予防策に加え接触予防策・飛沫予防策を追加実施する。COVID-19 が否定された場合は標準予防策の実施、確定した場合は、退院基準を満たすまで標準予防策に加え接触予防策・飛沫予防策を実施する。

### 【具体的な対策】

#### 1. 患者指導

患者へ、以下のことについて通常より指導しておく。

- ・毎日の体温測定、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚・嗅覚異常を含め健康状態を管理すること
  - ・37.5℃以上の発熱や感冒症状など、COVID-19 が疑われる症状のある場合、来院前に透析施設に電話連絡すること
  - ・同居家族や 2 週間以内に接触した人が、COVID-19 陽性と判明した場合や、自身が COVID-19 検査を受けた場合は、来院前に電話連絡すること
- 来院時には、必ずマスクを着用し、手指衛生(手洗い・手指消毒)を行うこと
- ・家庭内での注意事項（別紙 1）

患者より電話連絡を受けた場合、以下のことを説明する。

- ・医師が総合的に判断して COVID-19 を疑う場合
    - ① 自施設で検査等の対応が可能な場合：来院方法（マスクを着用し来院すること、時間、施設の入口、移動ルートについて）
    - ② 自施設で検査等の対応が不可の場合：「診療・検査医療機関」または「受診・相談センター」に相談すること。
      - ※ 地域の医療機関間で情報を共有しておく。医療機関の連絡先は、事前に確認しておく
- 「受診・相談センター」でかかりつけ透析施設の受診を指示された場合には、再度電話連絡すること
- ・来院時は、公共交通機関の利用を避けて来院すること

2. 患者の送迎
  - ・送迎車は他の透析患者と共有しない。
  - ・公共交通機関を使用しない。個人輸送手段を手配させ、運転手や同伴者はサージカルマスクを着用させる。
  
3. 来院時の健康状態のチェック
  - ・透析患者来院時チェックリストに沿って確認する（別紙 2）
  
4. 事務手続き
  - ・他の患者との接触を避けるため、職員など患者以外のものが行う。
  - ・患者が事務用品などを使用する場合、使用前にアルコール手指消毒を促す。使用后アルコールで清拭する。
  - ・清拭できない紙などは、透明のビニール袋などに入れコピーしたものを保存し、患者が触れた物は廃棄する。
  
5. 施設内の移動ルート
  - ・他の患者との接触を避けるため、診察室や透析室までの動線が交わらないよう考慮する（入口を分ける、時間をずらす）。 ※ 事前にルートを確認しておく。
  - ・患者に施設内入口で手指衛生を行うよう指導する。
  - ・患者自身が施設内の扉やドアノブなどを不要に触らないように、職員による誘導・案内を行う。その際、職員はサージカルマスク、眼の防護具（ゴーグル、フェイスシールド等）を着用する。
  
6. 個人防護具
  - ・診察や処置の際は、ディスポーザブルガウン、サージカルマスク、ゴーグルまたはフェイスシールド、ディスポーザブル手袋を着用する。（図 1）
  - ・患者の排泄物からもウイルスは排泄されるため、排泄物を処理する場合も曝露しないよう個人防護具を着用し十分注意する。
  - ・個人防護具は、脱ぐ時の手技によって職員自身を汚染するリスクが高まる。事前に個人防護具着脱の手技を再確認しておく。
    - ※ 事前の着脱実習や着脱場所に手順を貼り付けるなど、確実な着脱ができるよう工夫する。



図1 個人防護具(PPE)着用例

「公益社団法人 日本透析医会、新型コロナウイルス感染症に対する透析施設での対応について（第4報改訂版）」引用

・個人防護具は、患者の診察・処置を行う前に着用し、使用後は患者エリアを離れる前に外し必ず手指衛生を行う。（図2）

※ 患者エリア、スタッフエリアの区域分けを確認しておく。例えば、床に区域分けテープを貼ることでエリアの可視化⇒スタッフの共通理解



※ 汚染された手で目、鼻、口などの粘膜に触れないよう注意する。



図2. 个人防护具の脱ぎ方

「公益社団法人 日本透析医会. 新型コロナウイルス感染症に対する透析施設での対応について（第4報改訂版）」引用

## 7. ベッド配置

- ・透析を行う場合には、他の患者との接触がないように個室隔離が望ましい。
- ・個室隔離透析が不可能な場合には、患者どうしの間隔が2メートル以上空くようにする、つい立やカーテンを使用するなど、飛沫感染を考慮し空間的な隔離を行う。
  - ※ つい立だと、患者が触れたとしても清拭できるため管理しやすい。
- ・空間的な隔離が困難な場合は、感染者と非感染者の時間帯をずらして時間的な隔離で対応する（図3）。
- ・更衣を行う際も透析ベッド配置と同様に別室を使用する。または患者の透析を行うエリアで行う。

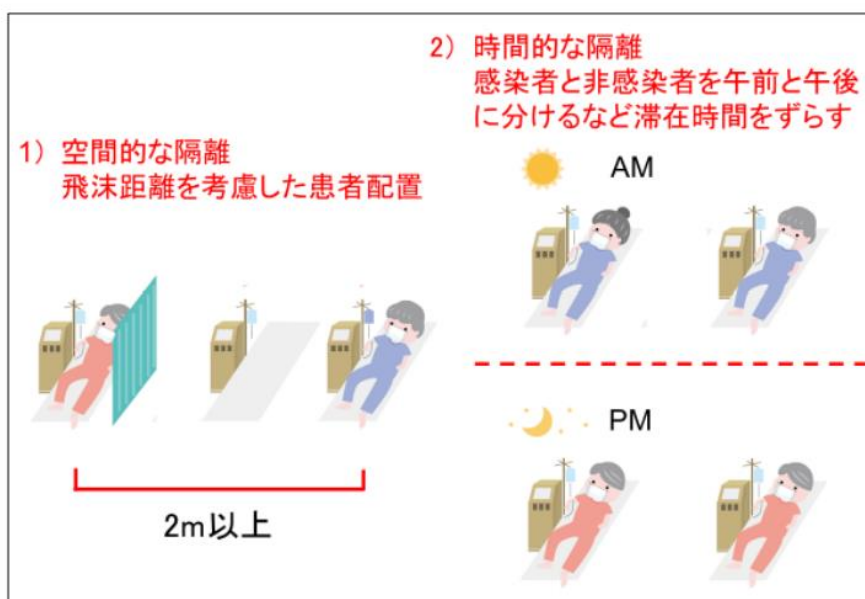


図3 透析施設で飛沫感染者の透析を行う場合

「公益社団法人 日本透析医学会. 新型コロナウイルス感染症に対する透析施設での対応について（第5報）」引用

## 8. スタッフ配置

- ・対応するスタッフは、个人防护具の着脱が正しく実施できるスタッフをできるだけ固定する。
- ・接触する機会を少なくするため、ベッドサイドでの診察や処置は必要最少とする。

## 9. 診療器具・看護ケア用品

- ・聴診器や体温計、血圧計カフは患者専用とする。
- ・患者に使用した物品や患者エリアに持ち込んだ物品（汚染された、または汚染の可能性のある物品）は、患者のベッドサイドで感染性廃棄物として廃棄する。
- ・廃棄できない物品は、0.05～0.1%次亜塩素酸ナトリウム、ペルオキソー硫酸水素カリウム配合剤、アルコール系消毒薬のいずれかにより清拭消毒を行った後に部屋(患者エリア)より出す。

・透析に用いた廃液については、HBV、HCV、HIVの場合と同様に取り扱いでも良い。

#### 10. 環境整備：

- ・環境整備の際は、手袋、サージカルマスク、ガウン、フェイスシールドまたはゴーグルを着用する。
- ・通常の実環境の清拭・消毒と同じように実施する。
- ・ベッド柵やオーバーテーブル、透析装置外装は、透析終了ごとに清掃および消毒をする。
- ・透析室での器具の清掃および消毒は、0.05～0.1%次亜塩素酸ナトリウム、ペルオキソ-硫酸水素カリウム配合剤、アルコール系消毒薬のいずれかにより清拭する。
- ・鉗子やトレイなどは使用ごとに、熱水消毒（80℃10分）または、洗浄剤を用いて十分な予備洗浄を行ない、0.1%次亜塩素酸ナトリウムに30分間浸漬後、十分に水洗いをする。
- ・ベッド周囲だけではなく患者の接触が考えられる、手すり・ドアノブ・更衣場所・トイレなどを上記の消毒方法で清拭する。
- ・スタッフ間で共有するPHSやタブレットなども清拭する。
- ・床は、体液・血液等が付着した箇所について0.05～0.1%次亜塩素酸ナトリウム、ペルオキソ-硫酸水素カリウム配合剤、アルコール系消毒薬のいずれかにより清拭する。

#### 11. 換気

- ・個室で管理し室内の換気回数は少なくとも6回/時以上行うことが望ましい。  
※十分な換気を行う。患者にマスク着用を促し、使用後の環境消毒と30分程度の換気により二次感染リスクは下がると言われている。
- ・個室での対応が難しい場合は、オーバーナイト透析など、1日中透析室を利用して、透析室の換気や清掃が十分にできない状態を避ける

#### 12. 患者寝具類の洗濯

- ・リネン（シーツ・枕カバー・毛布カバーなど）は患者ごとに交換する。
- ・リネンの洗浄消毒は、80℃かつ10分の条件で熱水洗濯、または次亜塩素酸ナトリウムによる消毒を行う。次亜塩素酸ナトリウムによる消毒は、微温湯で洗浄して、すすぎの際に0.01～0.02%の次亜塩素酸ナトリウム液で5分間浸漬し、その後に再度すすぎを行う。  
※ 事前に委託業者と話し合いを行う。

#### 13. 廃棄物

- ・COVID-19の患者（疑い例を含む）から排出された廃棄物は、感染性廃棄物として排出する。 ※ 事前に委託業者と運搬・処理方法について話し合いを行う。

#### 14. 退院基準・隔離解除基準

- ・厚生労働省が示す、退院基準に準ずる。
- ・ただし、透析患者は鼻腔内へのウイルスが長期に残存するデータもあることから、10 日以上感染性を維持している可能性がある患者（例：重度免疫不全患者）では、地域の感染症科医との相談も考慮する。

#### 15. 職員への注意

- ・スタッフ自身が感染源とならないように、院内でも院外でも「3つの密（密閉、密集、密接）」が同時に重なる場を避ける。
- ・休憩室等で、マスクをはずして飲食をする場合、他の従事者と一定の距離を保ち、極力マスク無しでの会話を控える。
- ・COVID-19 患者や疑い患者に接する業務を行うことから、医療従事者は新型コロナウイルスワクチン接種を積極的に接種する。
- ・会食や勉強会などのグループ活動は避けるか、最小限の人数・開催にとどめる。
- ・手指衛生、咳エチケットの標準予防策を日頃から実践する。
- ・出勤前の体調確認を行い、毎日の体温測定、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚・嗅覚異常を含め健康状態を管理する。
- ・発熱や感冒症状などの症状のある場合、出勤前に所属長に連絡する。
- ・COVID-19 疑い例または確定例の対応を行ったスタッフが、個人防護具の着用など適切に実施されていれば、自宅待機や就業制限の対象になるわけではない。

【参考】

・厚生労働省. 新型コロナウイルス感染症について

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)

・国立感染症研究所. 新型コロナウイルス感染症に対する感染管理. 2020 年 10 月 2 日改訂版.  
別添：表. 状況、職種、活動種類に応じた COVID-19 流行時における PPE の使用例

・日本環境感染学会. 医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド第3 版改訂版 .  
2020年5月7日

・「一類感染症等の患者発生時に備えた臨床的対応に関する研究」（令和元年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業）. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第4.2版. 令和 3年 2月19日

・公益社団法人 日本透析医会. 新型コロナウイルス感染症に対する透析施設での対応について（第4 報改訂版）. 令和2 年 4月3日

・公益社団法人 日本透析医会. 新型コロナウイルス感染症に対する透析施設での対応について（第5報）. 令和2 年10月8日

作成

HICPAC-S

三好恵美子（佐賀県医療センター 好生館）

重松孝誠（NHO嬉野医療センター）

中山美穂（唐津赤十字病院）

中村あすか（済生会唐津病院）



## 家庭内での注意事項

以下の点に注意して下さい。

- ・不要な外出は避け、自宅で安静を保つ。
- ・家族もマスクを着用して、うがいや手洗いを徹底する。
- ・部屋の換気を頻回に行う。
- ・ドアノブなどの共用する部分は定期的に清拭する。
- ・感染流行地域から家族が帰省する場合、2 週間は患者さんと接触しないようにする（ホテルや親族宅など居住を別にする）。
- ・同居家族以外との会食は控える（食事の際にマスクを外す必要があるため）。
- ・デイサービスなど介護事業の利用を可能な範囲で控える（感染を持ち込むまたは持ち出す可能性があるため）。
- ・呼吸状態など、症状が急に増悪した場合、非透析日であっても速やかに透析施設へ連絡する。

## 透析患者来院時チェックリスト

前回の透析後から今朝までの間に、次の症状がありませんでしたか	
発熱（37.5 度以上）	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
呼吸器症状（せき、くしゃみ、鼻水、痰、のどの痛み）	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
倦怠感（からだのだるさ）	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
味覚異常（味がわかりづらい）	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
嗅覚異常（においがわかりづらい）	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
腹部症状（腹痛、吐き気、嘔吐、下痢）	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
2 週間以内に次の場所に行っていませんか	
感染流行地域	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
3つの密（密閉、密接、密集） コンサート、スポーツジム、カラオケ、共同浴場 ビュッフェスタイルの会食、バーなど	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
2 週間以内に会った人の中に、次の項目に当てはまる人はいませんか	
海外から帰国した人	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない
感染流行地域 から帰省した人	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない
福岡に通勤している人	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない
発熱している人	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない
新型コロナウイルスの検査をした人	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない